

米田天神社秋祭り

収穫を祝い、豊作に感謝する祭りで、毎年 10 月に行われます。祭りの期間中、装飾が施された大きな屋台が、大人や子どもによって市内を練り歩きます。このイベントの特徴である熱気と賑やかな雰囲気は、一見の価値があります。

伝説によると、数百年前、米田天神社は北九州の家老であった宮本伊織（1612-1678）によって再建されました。伊織は、伝説の剣豪で五輪書の著者である哲学者・画家の宮本武蔵（1584-1645）の養子でした。米田天神社は武蔵と伊織のゆかりの地として知られています。